

令和5年度 第1回 中野市立図書館協議会会議録

開催日時 令和5年7月20日(木) 午後2時58分から午後4時29分

開催場所 中野市立図書館 2階会議室

出席者

(委員)

徳竹正委員、中村貴樹委員、関口真人委員、西原芳子委員、小田切勝利委員、
竹内昭江委員、郷道哲章委員、松本則夫委員、小島佐和子委員

(事務局 教育委員会事務局図書館)

大塚館長、佐野副館長、北原副主幹

欠席者

宮本博委員

会議内容

- 1 開 会 佐野副館長
- 2 あいさつ 大塚館長
- 3 自己紹介
- 4 会議事項

(会長が選出されるまでの間、大塚館長が議長を務める。)

(1) 会長の互選について

- ・事務局から会長の選出方法について説明
- ・会長には中村貴樹委員、会長代理には竹内昭江委員を選出
(以降、中村会長が議事進行する。)

(2) 令和4年度市立図書館事業報告について (P 1～3 及び資料集)

(質疑)

委 員：レファレンスは何回あったか

事務局：月に50くらい、軽度なものから内容の深いものまですべて含めての数字です。

委 員：聞きづらい、どこへ行ったらいいかという声を聞いた。やってないのかと思った。

事務局：そういうことではないです。聞いていただいて恐縮される方がいらっしゃるが、業務の範囲なのでお気軽にお声がけくださいとお話しさせていただいている。

委 員：窓口は委託だが、レファレンスでお尋ねがあったとき対応はどうしているか。

事務局：書名が分かっている本の場所など、窓口で対応できるものは委託先が行っている。

書名や著者から探せないもの、内容を確認しないと分からないものは市の司書が対応している。

委員：蔵書数が4,288冊増えていて喜ばしい。ブックスタートのファーストブックは35人、70冊、セカンドブックは27人、27冊減っている。

事務局：少子化で年々下がっている。

委員：北部分館などの開館日はどうなっているか。

事務局：北部分館の開館日は水曜の午後と土曜の午前です。西部分館は水曜の午後と、土曜は一日開いています。

事務局：豊田分館は金曜が休館日で、本館とずらして運営しています。

委員：北部分館は水曜は職員対応で土曜は午前中。西部は水曜は同じ、土曜は5時までで、北部と西部の土曜の開館時間が違う。諸事情があるということだが、統一されるようご努力いただきたい。

(3) 令和5年度市立図書館の運営について（P4～6）

（質疑）

委員：3-6開館30周年記念事業について、こういうことをやるというのはないのか。

事務局：後ほど資料を用意させていただきます。

委員：3-2-⑤DVDの貸出の検討状況は。

事務局：点数も揃ってきたので貸出してもいいだろうという所までで、本と違って弁償の金額が市販のものより高額になるので、その課題をクリアしてからになります。もう少しお時間をいただければと思います。

委員：講演会もマンネリ化していると思う。創作教室の代わりに作文講座を行ってはどうか。ローカル新聞の記事などを添削する方法で。

委員：図書館でやるのか公民館なのか判断できないが、豊田公民館で行われた自分史講座などは、自分を見つめ直す機会としていい講座だった。作文講座もどこか社会教育の場で、有意義なものだと思う。

委員：いいと思うが、著作権も考えてやっていかないと危ないと思う。

委員：公民館で分館報を持参して、信濃毎日新聞に講師をお願いしてやったこともある。

委員：対象はどのくらいですか。

委員：対象をどこに持っていくかは後で考えてもらえばいい。少しでもマンネリを打ち破りたい。

委員：この話はまた図書館で検討してもらえればと思います。

- ・事務局から開館30周年記念事業の資料を追加配布し説明

(4) 中野市生涯学習推進会議委員の推薦について

- ・事務局から選出方法について説明
- ・中野市生涯学習推進会議委員として小田切勝利委員を推薦

(5) その他

(質疑)

委員：サウンディング型市場調査の目的と現状は。

事務局：4月中旬に2者から提案を受け、精査中。7月中にはある程度公表していきたい。

その後は理事者と教育委員会と協議していく。指定管理、カフェ、駅前とのつながりの事業提案を受けた。

委員：平成19年か20年頃に、松本市の南部図書館に隣接した小さなカフェのようなものについて、青木市長に提案した人がいた。小さな喫茶的なものを敷地内に併設できたらいいと思う。利用者優先で考えていただきたい。

委員：先ほど対象年齢の話があったが、最近中学生や高校生の女の子がアニメの影響で、梶井基次郎や中島敦が意外と人気がある。古典までいくと大変だから檸檬や李陵を自分たちに分かるように書いてみるとか、あると思う。

委員：今の子どもはタブレットを相当見ている。親も心配していると思うので、こういう企画があれば行ってこいと言う。評判がよければ来年も来ると思う。うまく企画してほしい。

事務局：職員の中で負担にならないように考えさせていただきたい。

委員：朗読ボランティアをやっていて、音訳で写真や絵を文章にして視覚障がいの方に伝えるが、大変である。読んで相手に伝える力がつくと思う。そこに写真も入れていただきたい。

事務局：検討させていただく。

委員：できるだけ金かけない、極端な負担にならない、この二つを守っていただきたい。

5 その他 なし

6 閉会 午後4時29分